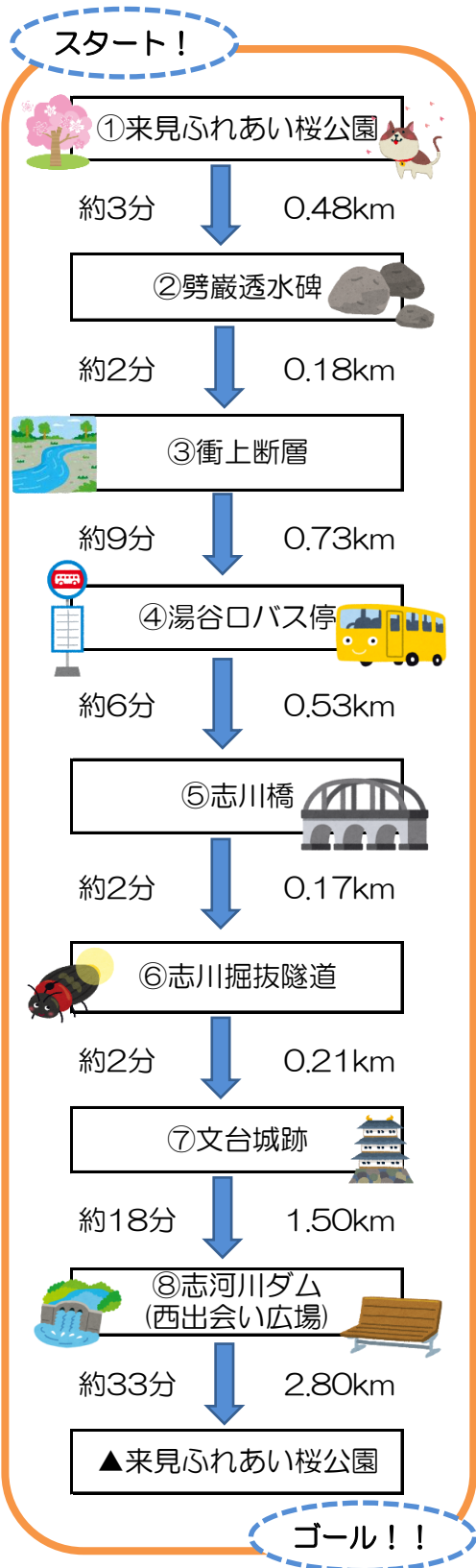


中川・桜樹地区ウォーキングマップ



- *トイレ利用
- ①来見ふれあい桜公園
 - ②湯谷口バス停
 - ③志河川ダム(西出会い広場)

- 歩行時間：約1時間15分
- 歩行距離：約6.6Km
- エネルギー消費量：約276kcal
体重60kgの人のやや早い歩行速度の場合

②劈巖透水碑



安永9年、来見村の庄屋が水不足に苦しむ農民のために私財を投じ、約10年の歳月をかけて完成させた用水路です。かなりの難工事で「伊予の青の洞窟」と言われています。湯谷口から県道を下って来見橋を渡った左手に建立されています。

③衝上断層



中山川溪谷の来見橋下流に露出している断層です。数千万年前の地殻運動によってできた中央構造線上の逆断層で、雲母片岩の上に和泉砂岩が押し上げられたものです。地質学上貴重な資料といえ、県指定の天然記念物です。

⑥志川掘抜隧道



志河川の水を志川地区の灌漑用水として利用するため、寛文5年に公儀の依頼を受けた三津屋の石工米屋三郎右衛門が、権現山下の岩石を切り抜く水道工事等に着手し完成させました。その後、明治35年には地元の資産家野田蜂次郎が私財を投じ、現在の位置に移し、灌漑機能に合わせて水害の災いもなくしました。

⑦文台城跡



標高約180m、比高約100mのピーク上にある。平惟盛目代は青滝山山腹にある赤滝城に立て籠もりましたが、文台城とその西方にある大熊城は支城の役目を果たしました。東西に細長い主郭とその北をとりまくように第二郭があり、堀切は3つあります。

⑧志河川ダム



堤の高さ48.2m、堤の長さ117m、総貯水量130万 m^3 の巨大な農業用ダムです。灌漑面積は1090haで、道前平野全域の農業用水を安定供給できます。また、国道11号線からすぐ近くにあることから、気軽に訪れることのできる親水空間として市民の憩いの場となります。

23 中川・桜樹地区ウォーキングマップ

